

令和7年11月19日配信

お腹の中の「いのち」から育む 子育て応援共同宣言について

お腹の中の「いのち」から育む 子育て応援共同宣言発表式を開催します。

本宣言は、お腹の赤ちゃんをはじめ、すべての「いのち」が大切にされ、妊娠期から子育て期まで安心して支援を受けられる社会の実現を目指すものです。

地域全体で「いのちを育み、子どもと家庭を支える」ために、行政と民間団体が協働して取り組む姿勢を広く発信します。

開催概要

- ・ 日 時：令和7年11月25日（火曜日） 11:00 ～ 11:30(予定)
12月議会に向けた記者会見終了後
- ・ 会 場：嬉野市役所 塩田庁舎 3-2会議室
- ・ 出席者：佐賀いのちを大切に作る会（代表・相談役・事務局・会員の皆さま）、
嬉野市（市長・副市長・市民福祉部長・子育て未来課長・健康づくり課長・保健師ほか）

発表式内容

- ・ 共同宣言文の発表
「嬉野市」と「佐賀いのちを大切に作る会」が、共同で宣言文を発表します。
- ・ 出席者挨拶
嬉野市長と、佐賀いのちを大切に作る会の代表より、宣言の意義と今後の取り組みについての挨拶を行います。
- ・ 記念撮影
出席者による記念撮影のほか、報道関係者向けの取材対応を予定しています。

＜お問い合わせ＞

嬉野市役所 市民福祉部

担当 小池 和彦

TEL 0954-66-9121

共同宣言・取り組みのきっかけについて

嬉野市と「佐賀いのちを大切にする会」が共同でこの宣言を行うに至ったきっかけは、地域における子育て支援をさらに強化し、お腹の中の「いのち」から子ども・家庭を地域全体で支える社会を実現したいという思いを共有したことにあります。

1 地域社会における子育て支援のニーズの高まり

近年、子育て家庭の負担や孤立が深刻化し、妊娠期から子育て期にかけて不安を抱える家庭が増えています。嬉野市においても、子育てに関する相談や支援のニーズは年々高まっており、切れ目のない支援体制の構築が行政の重要課題となっています。

2 「いのち」を尊ぶ理念の共有

「佐賀いのちを大切にする会」が推進してきた、「お腹の赤ちゃんも大切な市民であり、地域の宝である」という理念は、嬉野市が掲げる「嬉野市こども計画」と深く合致します。両者が協力することで、妊娠期から支援を開始する体制づくりが加速され、すべての「いのち」を尊重しながら育てる地域社会の姿を、共同で示す必要性が高まりました。

3 地域のつながりと支え合いの再構築

妊娠期や子育て期の家庭を支えるには、行政だけでなく、地域住民や団体など多様な主体の協力が不可欠です。お腹の中の赤ちゃんを「地域の宝」として温かく迎え、家庭が孤立しないよう地域ぐるみで支えていく体制をつくるのが、今回の宣言の大きな原動力となりました。

4 共同宣言の意義

共同宣言は、「理念」だけでなく、行政と民間団体が協働し、実際の取り組みを前進させるための約束を社会に示すものです。これにより、地域全体が子どもと家庭を支えるという共通の方向性を持ち、安心して妊娠・出産・子育てができるまちづくりを「佐賀いのちを大切にする会」と嬉野市が、共に推進していきます。